

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団災害対応能力向上事業

自治体名

広島県江田島市

消防団名

江田島市消防団

1 事業の目的

常備消防と統一した資器材(油圧コンビツール)を導入し、消防署と毎月実施している合同訓練で実践的な訓練を行う。また、新基準の活動服を導入することにより、個人装備の高機能化を図り災害現場での消防団員の安全性の向上を図る。

2 事業内容

今後発生する恐れのある大規模災害に備え、常備消防と統一した救助資機材(油圧コンビツール)を各分団に導入し、共通認識を持った実践的な訓練を実施し、消防団災害対応能力の向上に繋げていく。また、未だ導入できていない高視認性活動服を救助班へ導入し、個人装備の高機能化及び安全性の向上を図る。

3 事業成果

本事業を通じて、今後発生が想定される大規模災害に備え、救助資機材の配備率向上と消防団員の訓練への参加意識を高めることができた。また、高視認性活動服の配備により消防団員の安全性が向上し、災害対応体制の強化に繋げることができた。今後も消防署との合同月例訓練を継続的に実施し、連携を一層強化するとともに、地域特性を踏まえた訓練内容の充実を図りながら、大規模災害への備えを進めていく。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
救助資機材 配備率	%	70%	80%	
訓練参加者	人数	230名	244名	
総合訓練	回数	1回	1回	

5 その他参考情報

